

性犯罪・性暴力被害についての相談支援機関

～皆様へのご案内～

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター 性暴力被害者サポートネットワーク茨城

茨城県内から

は や く ワンストップ



#8891

通話料無料



または 0120-8891-77 **通話料無料**

上記の番号でつながらない場合 029-350-2001



茨城県公式ウェブサイト内
案内ページ

秘密は守られます
名前を言わなくても
相談できます



公益社団法人いばらき被害者支援センター
ウェブサイト内案内ページ
(メールでの相談受付も行っています)

相談時間 月～金曜日 9:00～17:00

上記以外の夜間や土日祝日の時間帯も、全国共通の相談電話につながります(24時間対応しています)

＼ 性暴力被害者サポートネットワーク茨城ができること ／

電話相談

医療的支援

付き添い支援

心理的支援

法律相談

* 性暴力被害者サポートネットワーク茨城は、県、警察、支援団体、医療機関が連携し、被害にあった当事者や家族からの相談に応じる専門の相談支援機関です。

茨城県生活文化課安全なまちづくり推進室

〔電話〕029-301-2842 〔メール〕seibun6@pref.ibaraki.lg.jp



こどもの性被害について

こどもに対する性犯罪・性暴力は、被害者の心身に長期にわたり有害な影響を及ぼす極めて悪質な行為です。

たとえば・・・

- 抱きつかれた、キスされた
- 水着で隠れる部分（プライベートゾーン）を触られた、痴漢にあった
- 下着姿や裸の写真・動画をとられた、送るよう要求された



注意してください

- 加害者は「知っている人」かも
 - ・身近な大人（先生、コーチ、親、同居人など）
 - ・友達、交際相手、きょうだい
 - ・SNSやオンラインゲームで知り合った相手
- こどもの被害は気がつきにくい場合も
 - ・人目につかないところで行われた
 - ・本人も何をされたか分からない
 - ・家族や親しい相手からの被害を隠す（悲しませたくない、自分も悪かったかも、口止めされているなど）
 - ・信頼させて加害を続ける「性的グルーミング」
- 男の子も被害にあっています
 - ・「男の子が性被害にあうはずがない」「大したことではない」「恥ずかしい」「ただの遊びやいたずらだ」などの思いこみは間違いです。
 - ・性暴力の被害は性別を問いません。

周りの大人が 気づくことが大切です

こどもへの性暴力は、身近な人でも気づきにくいものです。こどもが見せるSOSのサインに気づいてください。

こどもが見せるSOSのサイン

心身の不調や問題行動が見られる場合は、その背景にある「心の傷」を理解することが重要です。

●からだの変化

- ・頻尿・夜尿、頭痛、腹痛、吐き気、倦怠感
- ・眠れない、怖い夢、睡眠時に叫び声を上げる
- ・性器の痛み・かゆみ
- ・食欲不振、過食

●こころの変化

- ・ふさぎこむ、元気がない、無気力
- ・過剰に甘えようとする
- ・集中力の欠如、情緒不安定
- ・周りの人が信じられない



●行動面の変化

- ・性的な言動をする、自分や人の性器を触る
- ・不特定多数の人と危ない性行動を繰り返す
- ・性的なことを避ける
- ・自傷行為、リストカット
- ・勉強に集中できない
- ・落ち着きがなくなる
- ・物を壊す
- ・非行（飲酒、喫煙、家出など）

被害を受けたこどもにどう対応したらよいか

- 「話してくれてありがとう」「あなたは悪くないよ」などと伝え、こどもの話を信じて、寄り添いながら話を聞いてください。



話を聞く時のポイント

- 「本当?」「ありえない」などと、疑ったり、否定したりしない
- こどものペースに合わせるようにし、話したくないことは無理に聞き出さない
- 話している途中で、気分が悪くなったり疲れたりしたら、休んでもいいと伝える



- こどもに聞きすぎないでください。繰り返し同じ話を聞くと、こどもの記憶に影響してしまう場合があります。
- なるべく早く警察や専門窓口にご相談してください。けがの確認や検査、証拠保全等のため、医療機関を受診した方がいい場合もあります。必要なケアを受けられるようにしましょう。

警察への相談は

警察の性犯罪被害相談電話専用ダイヤル
茨城県警察「勇気の電話」**#8103**
シャープハートさん



専門の相談支援窓口

性暴力被害者サポートネットワーク茨城 **#8891**（はやくワンストップ）

もしくは **0120-8891-77** または **029-350-2001**